

豊かな海づくりに向けた取組について

本市は世界最長の吊り橋が架かる明石海峡に面し、海産物に恵まれた「海のまち」として全国的に知られており、豊かな海はまちの大きな魅力です。

とりわけ、タコ・タイ・ノリは、国内だけでなく海外ブランドとしても有名であるとともに、市民がわがまち明石を誇りに思い、地域への愛着を深める「あかしのたからもの」となっています。

また、国際社会全体で取り組む持続可能な開発目標であるSDGsの目標の一つに、海洋と海洋資源の保全を目指す「海の豊かさを守る」が掲げられており、明石の恵まれた海を守り、未来の子ども達に引き継ぐことは、本市のSDGsの理念に沿った、持続可能なまちづくりの柱の一つとなるものです。

については、将来にわたり、市民が自然の恵みを楽しむことができるとともに、まちの賑わいの維持・拡大や市民のまちへの愛着の醸成が図られるよう、市民や漁業者、国・県などと連携しながら、豊かな海づくりに向けた取組を一層推進していきます。

1. 明石の海の現状

明石の水産業において、マダイやマダコ、イカナゴは全国的なブランドであり、重要な漁業資源です。しかし、近年は漁獲量が大きく変動・減少しており、特に昨年夏には、マダコの漁獲量が前年の約4割に落ち込むなど、記録的不漁が大きな問題となっています。

漁獲量減少の主な原因としては、窒素、リン等の栄養塩量の減少と考えられており、栄養塩量の回復が豊かな海づくりに向けた大きな課題となっています。

【参考】マダコ漁獲量の推移



2. 豊かな海づくりの取組

(1) 水産資源の保全

① 栄養塩量の増加

- ・海やため池の底に堆積した栄養塩を循環させるため、漁業者、農業者と連携して、かいぼりやため池からの一斉放流、海底耕耘などに取り組んでいます。
- ・陸域から海域へ栄養塩の円滑な循環を推進するため、2008年度から下水処理施設から排出される処理水中の窒素濃度を、規制の範囲内で増加させる栄養塩管理運転を試行しています。また、今年度中を目途に、兵庫県が排水基準の緩和を行う方針を示していることから、本市も県と連携しながら、更なる取組を検討してまいります。

② 稚魚の放流

- ・水産資源の保護と育成意識の醸成のため、明石市地先の沿岸海域に適した魚種を種苗生産施設から調達し、明石市漁業組合連合会と連携しながら稚魚放流に取り組んでいます (単位:尾)

	メバル	マコガレイ	ヒラメ	マダイ	ギンハタ	計
2016年	4,000	10,000	15,000	6,500	8,500	44,000
2017年	6,000	7,500	16,500	7,800	5,000	42,800
2018年	4,900	7,500	18,000	6,750	5,000	42,150

③ ふるさと納税「臨時応援プラン」の創設

- ・マダコの記録的不漁を受けて、2018年12月から2019年3月までの期間限定で、ふるさと納税の使途に「明石ダコの保護」を設定し、全国から寄付を募りました。
- ・3月末までに466件、10,158,668円の寄付が集まり、大きな反響があったことから、今年度も応援プランを継続し、マダコの保護に取り組んでいきます。

< 寄付金の活用例 >

- ・産卵用たこつぼの追加購入 (4,300個)
- ・マダコ啓発用パンフレットの製作
- ・マダコ保護啓発動画の作成

(2) 海や海岸の環境保全

- ・ウミガメも上陸する美しい砂浜など、美しい海岸を守るため、市民と協働による清掃活動を引き続き推進していきます。
- ・川などを通じて海に流れ込む、海洋プラスチックごみの削減の観点からも、事業者と連携したレジ袋削減の取組を一層推進していきます。

(3) 明石製品のブランド化や海外販路の拡大

- ・海外における明石製品のブランド力向上を目指して、販路拡大を進める卸売市場などと連携し、東南アジアを中心に食材や食文化の普及に努めており、とりわけタイ王国では、明石ダイなど水産物の持続的な取引につながっています。
- ・国内における取り組みは、明石ノリや明石ダコをテーマに、漁協など関係団体などと連携して市内でイベントを開催し、情報発信に努めています。

(4) 水産物を生かした食育や地産地消の推進

- ・学校給食において、タコやノリなどの地元水産品の活用に努め、地産地消を推進するとともに、食文化の継承を図ります。
- ・本年、市制施行100周年を記念し、タイなどを使用した給食を提供することで、子ども達のまちへの愛着を深めます。

(5) 全国豊かな海づくり大会の誘致

- ・水産資源の保護や漁業振興などを目的とする、「全国豊かな海づくり大会」の2021年兵庫県開催が決定しました。「豊かな海を守る」取組に対する機運の醸成を図るため、県と連携しながら、明石市開催について取組を進めていきます。

【参考】大会の概要（先催県の事例）

- ・天皇皇后両陛下ご臨席のもと、式典行事・会場歓迎放流行事を開催
 - 【式典行事】水産団体表彰、最優秀作文の発表、漁業者メッセージ、大会決議
 - 【海上歓迎・放流行事】稚魚御放流、漁船パレード